

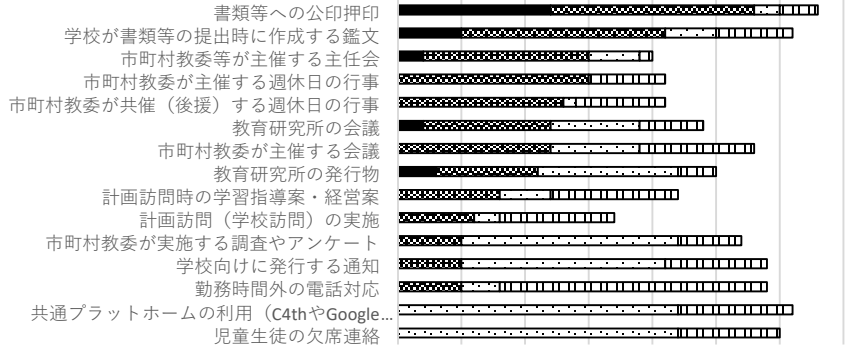
教職員の多忙化解消を地域差・学校差無く進めるにあたり、教育委員会が率先して取り組むことが必要です。昨年度の提言R4において業務の在り方や学校行事等について、前例や慣例にとらわれることなく、教育的意義を踏まえながら廃止や縮小も含めて検討することが示され、その検証として令和4年10月～11月に県教委が実施した教職員の業務状況等調査では、既に学校及び教育委員会において改善が進められている業務や行事等が明らかになりました。

本調査結果を踏まえ、教育委員会として学校と連携し、「廃止・縮小・ICT化」に取り組むべき業務等について、以下の通り提言します。教職員が心身の健康を維持するとともに、子どもたちとしっかり向き合う時間を増加させることで教育の質を高め、豊かな学びを届けることを目指し、この提言を基にして、教育委員会として業務等の再検討を行うとともに、学校それぞれの特色を踏まえて、地域や関係者の理解を得ながら教職員の多忙化解消に取り組んでいただきますようお願いいたします。

業務状況等調査の結果について

令和4年10月～11月に「教職員の業務状況等調査（市町村・県立全ての校長と抽出校の教職員対象）」を行いました。同時に教育委員会に対しても調査を行い、既に「各種業務の廃止・縮小・ICT化」を進めている業務や行事、今後改善推進していきたい業務や行事について、回答が多かった業務を参考に、協議会として具体的に改善を進めていきたい業務として示しました。

回答総数 35



「廃止」が可能な業務例

■ 提出書類等の公印押印

既に公印省略が進められていますが、原則として押印は廃止することで、書面ではなく、メール等による提出とすることができます。

■ 学校から教委へ書類提出時に添付する鑑文

鑑文の作成を省略し、必要書類のみを提出することで、文書作成の負担を軽減することができます。

■ 廃止 ■ 縮小 □ ICT化 □ 今後改善推進

■ 勤務時間外（夜間）の電話対応

勤務時間外のうち、特に夜間については留守番電話や自動応答等を検討し、学校と連携しながら、教育委員会としての取組を推奨します。合わせて教職員の勤務時間について保護者や地域に理解を促し、緊急度の低い連絡は勤務時間内の連絡をお願いすることで、教職員の時間外在校等時間の縮減を図ることができます。

「縮小」を推奨する業務例

■ 会議・行事（教委や教育研究所等が主催）

会議や行事の必要性を再検討し、回数や時間の縮減、オンライン開催など教職員が参加しやすい体制などを工夫することで、参加者の負担を軽減することができます。

■ 刊行物・発行物

刊行物等を精選し、発行する回数の削減や電子化を進めることで、文書の作成や印刷にかかる時間やコストを軽減することができます。

■ 計画訪問・学校訪問

学校訪問の在り方を検討し、内容等を工夫するとともに実施間隔を広げる、時間を短縮する、学校繁忙期を避けた時期にすることなどで、負担を軽減することができます。

■ 学習指導案・学校経営案

作成する目的に沿って、書式や記載内容の重点化や簡略化を進めることで、視点を明確にしたり、負担を軽減したりすることができます。

「ICT化」を推奨する業務例

■ 各種アンケート・意向調査

アンケート調査の必要性を精査するとともに、アンケートフォームの活用を推進することで、配布や回答、集計にかかる負担を軽減することができます。

■ 共通プラットフォームの活用・ICT環境の整備

校務支援システムなどの共通プラットフォームの活用を進めます。合わせて、学校の利便性が高まるようICT活用の基盤整備についても検討をお願いします。

■ 児童生徒の欠席連絡

必要に応じて保護者との電話連絡による情報交換は継続しつつ、アンケートフォームの活用を教育委員会として広く学校に導入されるよう取組を推奨します。朝の電話対応を減らすとともに、複数の職員が欠欠の情報を瞬時に共有することで、教職員が余裕をもって児童生徒を迎えることができます。保護者も決まった時間に電話連絡する必要がなくなり、負担軽減につながります。

部活動運営については、「群馬県部活動運営の在り方検討委員会」より令和5年2月に提言が発出される予定です。提言に基づき、取組の推進をお願いいたします。